

2024 年度日本認知症ケア学会・認知症ケア賞 実践ケア賞

株式会社ベネッセスタイルケア

【設立年月日】2003 年 12 月 1 日

【授賞理由】

本団体は、1995 年から介護事業を開始し、現在は 355 拠点の高齢者向けホームを運営するほか、訪問介護や通所介護サービスも提供しています。「その方らしさに、深く寄りそう。」という理念のもと、個々に合わせたケアプログラムを展開し、介護職員の教育や技術の向上を図るため、専門的な研修やデータを活用した ICT システムの開発にも注力しています。これにより、高い介護の質を実現しており、介護職向け情報サイト「介護アンテナ」を通じてその知見を業界全体に共有し、認知症ケアの方法論を社外にも広めています。地域社会との連携を強化し、認知症への理解を深めるための情報発信も積極的に行っている点が特筆されます。これらの取り組みから、認知症ケア賞（実践ケア賞）の受賞に相応しいといえます。

【団体概要】

ベネッセグループでは「Benesse =よく生きる」を企業哲学とし、国内教育、グローバル教育、介護・保育、生活等の分野で人のライフステージに沿った事業を展開しています。グループとしての介護事業の開始は 1995 年であり、都心部の住宅地を中心に老人ホームの開設を進め、「その方らしさに、深く寄りそう。」という介護事業理念のもと、現在高齢者向けホームを 355 拠点運営し、入居者数は約 17,900 名にのびります。それに加え、訪問介護サービス、通所介護サービス、研修・人材サービス、サービス付き高齢者向け住宅運営、およびグループ会社による配食サービス、人材派遣事業、有料老人ホーム紹介事業などにより、高齢者の生活を包括的にサポートしています。

【事業活動】

- ・高齢者向けホーム事業 355 拠点（有料老人ホーム 351 拠点、グループホーム 2 拠点、サービス付き高齢者向け住宅 2 拠点）
- ・在宅介護事業（介護センター30 拠点、デイサービスセンター6 拠点）
- ・医療介護職紹介派遣事業（株式会社ベネッセ MCM）7 拠点
- ・介護福祉領域でのメディア運営／人材紹介／福祉用具貸与事業（株式会社ハートメディアケア）
- ・配食サービス（株式会社ベネッセパレット）
- ・介護相談室（株式会社ベネッセシニアサポート）3 拠点
- ・障がい者就労支援（株式会社ベネッセソシアス）
- ・保育園 68 拠点
- ・学童保育 39 拠点

（2024 年 4 月 1 日現在）

※地域や現場への知見の還元については、社内シンクタンク「ベネッセ シニア・介護研究所」を設置、介護職向け総合情報サイト「介護アンテナ」を運営

【褒 賞】

- ・ ニュースウィーク日本版 SDGs アワード 2023 社会部門賞
- ・ CareerSelectAbility（キャリアセレクトアビリティ）®賞 2020
- ・ 全国介護付きホーム研究サミット 2019 第7回介護付きホーム事例研究発表全国大会グランプリ
- ・ 2019 グッドデザイン賞（公益財団法人日本デザイン振興会）
- ・ 平成30年度（第36回）IT 賞：IT ビジネス賞（公益社団法人企業情報化協会）

【業績等】

高齢者向け介護サービス事業の実践においては、個々の介護職がさまざまな知見やノウハウを習得していきませんが、シフトを組みチームで仕事をする現場で介護の質を担保するためには、それらの知見・ノウハウを共有・横展開することが重要です。さらに事業者の垣根を超えて共有すれば、介護業界における人財不足という大きな課題の解決にも近づくことができます。また、広く社会に目を向けると、認知症についての理解はまだまだ不足しているのが現状ですが、今後ますます認知症の高齢者が増加することを鑑みると、市民に向けた知識の共有は、認知症の方も暮らしやすい社会の実現に貢献することができます。このような背景から、当社の介護現場で蓄積してきた介護人財育成に関わる知見・ノウハウを、介護業界はもとより一般向けにも広く公開し、介護業界や社会に貢献するため活動を行っています。

特徴は「その方らしさに、深く寄りそう。」という理念を実践できる人財を育成する仕組みを確立していることです。当社の介護現場の好事例をもとにした実践知のメソッド化（認知症ケアメソッド®、夜間ぐっすり排泄ケア®等）や、単なる介護記録システムにとどまらず蓄積したデータ・情報に基づいて気づきを与え質の高いケアの実践を支援する ICT システムの開発と運用（サービスナビゲーションシステム、マジ神 AI）、専門性を高める教育研修制度や人事制度（「マジ神」の社内認定）等包括的な取り組みを行っています。開発したメソッドやツールはベネッセ シニア・介護研究所が効果を検証しエビデンスを整備しています。

確立した知見・仕組みは、社外でも広く利用できるよう、当社運営の介護職向け総合情報サイト「介護アンテナ」や「ベネッセスタイルケア アカデミー」サイト、当社主催の地域セミナー・イベント、介護関係団体における研修や講演、学会発表等を通じ積極的に発信しています。

介護事業者向けには、複数の介護関係団体において 2020 年より夜間ぐっすり排泄ケア®の研修をオンライン等で定期的に実施し、多くの他介護事業者の実践・好事例に繋がっています。認知症ケアメソッド®は社内のオンライン研修と実践を通じてさまざまな好事例が生まれ、効果検証の結果も含めた学会発表や論文掲載の結果、地域における認知症ケア研修での活用や、数多くの講演・研修・寄稿依頼によりさらなる情報発信に

繋がっています。マジ神 AI については国際見本市へも出展し、国外からも複数の視察を受けました。介護アンテナは月間約 100 万 PV・会員数 15 万人以上にのぼっており、当社の研修内容をはじめとするさまざまな情報が広く活用されています。

市民向けの情報発信では、マジ神が登壇したタウンミーティング等、参加者の満足度も高く、認知症に関する知識向上に貢献しています。また、ご入居者の作品を展示する「ART 展」等を一般公開で開催し、2023 年度は累計 2 千名以上が来場しました。

今後はさらに現場の知見やエビデンスを整理しわかりやすい形で社内外に発信していきます。特に認知症ケアメソッド®については、Care Show Japan 2024 での講演や日本認知症ケア学会関東 2 地域部会の講座、全国老人福祉施設協議会の「次世代ワールドカフェ」での講演に続き、全国介護付きホーム協会の研修も行うなど、社外での実践に向けた講演・研修にさらに力を入れていきます。マジ神 AI については早期の社外普及を目指して効果検証とバージョンアップをしていきます。現在開発中の新しいメソッドについても、まとめ次第「介護アンテナ」にて共有予定です。

地域向けには今後もマジ神が登壇するタウンミーティングをはじめとする数多くの地域セミナー・イベントを通じて、地域の課題解決の一助となるような情報発信や連携を行っていきます。